

第4学年 体育科学習指導案 (例：小学校)

平成〇〇年△△月□□日 ◇曜日 ▽校時
 第4学年△・◇組(男子〇〇名、女子△△名)
 場所 〇〇組教室
 指導者 〇 〇 〇 〇

1 単元名 保健「育ちゆく体とわたし(思春期の体の変化)」

2 単元の目標

- (1) 体の発育・発達について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。(関心・意欲・態度)
- (2) 体の発育・発達について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、実践的に考え、判断し、それらを表すことができるようにする。(思考・判断)
- (3) 体の年齢に伴う変化や個人差、思春期の体の変化、よりよく発育・発達させるための生活について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解することができるようにする。(知識・理解)

* 「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校体育】平成23年11月〈国立教育政策研究所 教育課程研究センター作成〉のP40の「評価規準に盛り込むべき事項」から語尾を「～できるようにする」に変えて記載する。
 ※ 「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「知識・理解」の順で表示する。

3 単元の評価規準

	健康・安全への関心・意欲・態度	健康・安全についての思考・判断	健康・安全についての知識・理解
単元の評価規準	体の発育・発達について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	体の発育・発達について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、実践的に考え、判断し、それらを表している。	体の年齢に伴う変化や個人差、思春期の体の変化、よりよく発育・発達させるための生活について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
学習活動に即した評価規準	①体の発育・発達について、教科書や資料などを見たり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。 ②体の発育・発達について、課題の解決に向けての話合いや発表などの学習活動に進んで取り組もうとしている。	①体の発育・発達について、学習したことを自分の生活と比べたり、関係を見付けたりするなどして、それらを説明している。 ②体の発育・発達について、教科書や資料などを基に、課題や解決の方法を見付けたり選んだりするなどして、それらを説明している。	①体は、年齢に伴って変化すること、体の変化には、個人差があることについて、言ったり、書いたりしている。 ②思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男女の特徴が現れることについて、言ったり、書いたりしている。 ③思春期には、初経、精通などが起こること、異性への関心も芽生えること、これらは、個人によって早い遅いはあるもののだれにでも起こること、大人の体に近づく現象であることについて、書いている。 ④体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠が必要であることについて、書いている。

※ 単元の評価規準については、「内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項」を参考に、「評価規準の設定例」を活用して観点ごとに作成する。
 ※ 学習活動に即した評価規準については、学習指導要領解説を踏まえ、授業の目標を明確にするとともに、「評価規準の設定例」を参考に、授業をイメージして観点ごとに作成する。また、「単元の評価規準」との整合性をとるように留意する。

4 単元について

その単元の内容について、学習指導要領解説を参考に、教材の特徴を明記する。

(1) 教材観

(2) 生徒観

生徒の学習の様子やこれまでの保健学習において、「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「知識・理解」について、どのような指導が行われ、どの程度、学習の力が身に付いているかを明記する。

(3) 学習を進めるに当たって

上記の教材観や生徒観から、教師がどのような内容に力点を置き指導していくかを具体的に明記する。その際に、単元の目標を具現化するための教師の意図的・計画的な指導を明記する。

5 指導と評価の計画

		第1時	第2時	第3時 (本時)	第4時
主な学習内容・学習活動	体の発育・発達	体の発育・発達	思春期の体の変化①	思春期の体の変化②	体をよりよく発育・発達させるための生活
	○身長や体重は、年齢に伴って変化すること。 ○体の変化には個人差があること。	○思春期には、体つきに変化が起こり、男女の特徴が現れること。 ○変化の起こり方は、人によって違いがあること。	○思春期には変声や発毛、初経や精通が起こること。 ○思春期には異性への関心も芽生えること。 ○個人差はあるものの大人の体に近づく現象であること。	○体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、調和のとれた食事、運動、休養及び睡眠などが必要であること。	
評価機会等	関	①【観察】			②【観察】
	思		①【観察・学習カード】	②【観察・学習カード】	
	知	①【学習カード】	②【学習カード】	③【学習カード】	④【学習カード】

※ 主な学習内容・学習活動については、単元「育ちゆく体とわたし」の内容のまとまりで示している。
 ※ 「理解できるようにする」ことを考慮し、何時間必要かを考慮し、単元計画を作成する。(第4学年～4時間程度)

6 本時の展開 (3 / 4 時間)

(1) 思春期の体の変化②

(2) 本時の目標

- ・ 体の発育・発達について、教科書や友達の話などを基に、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明することができるようにする。(思考・判断)
- ・ 思春期には、初経、精通などが起こり、異性への関心も芽生えること、これらは、個人によって早い遅いがあるものの、大人の体に近づく現象であることについて書いたりすることができるようにする。(知識・理解)

(3) 展開

☐ : ねらい □ : 学習内容 ⋯ : 発問・指示など

時間	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入 10分	<p>1 思春期に起こる体の変化を知る。</p> <p>⋯ 猫やネズミなどの動物のヒゲと、人間のヒゲの違いは何でしょうか？</p> <p><予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間の赤ちゃんにはヒゲはないけれど、大人にはあるよ ・ 女の人にも生えるのかな。 ・ 動物は小さなときからヒゲがあるが、人間のヒゲは大人になると生えてきたり、濃くなったりすることに注目する。 	<p>○思春期になるとヒゲの他にも、ワキの毛やすね毛、性器のまわりの毛が生えることを気付かせる。</p> <p>○思春期には人によって違いがあるが発毛や、変声が起こったりすることを押さえる。</p>
展開 30分	<p>2 学習のねらいを知る。</p> <p>☐ 大人に近づくにつれて体の中は、どのように変わっていくのだろう。</p>	
	<p>3 思春期には、「初経」「精通」が起こることについて知る。</p> <p>⋯ 体の中の変化に、初経、精通があります。これらについて調べて、わかったことを友達に教えてあげよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配られた体の秘密カードを基に、学習カードに記入する。 ・ 調べたことを友達に説明する。 ・ 学習カードにまとめる。 ・ まとめたことを全体で確認する。 <p>☐ 思春期には、女子には初経、男子には精通が起こること。</p> <p>☐ 個人によって早い遅いがあるものの、大人の体に近づく現象であること。</p>	<p>○各班に4種類のカードの内1種類を配り、そのカードを基に、友達に教えてあげるための秘密を学習カードに記入させる。(学習カード)</p> <p>○制限時間内に自分が調べた秘密以外を友達に教えてもらうように指示する。</p> <p>◆【思考・判断】 体の発育・発達について、資料や友達の話などを基に、課題を見付け、それらを説明することができる。(観察・学習カード)</p> <p>○調べたことを全体で確認し、教師がまとめる。</p> <p>○個人差については、初経や精通を経験した時期のデータ資料を基に説明する。</p>
	<p>4 異性への関心についての事例(隣の人と手をつないでみよう)を基に考える。</p> <p>⋯ ここで、突然ですが、隣の人と手をつないでみよう。</p> <p>⋯ 低学年の時は、男女で手をつなげたのに、今、手をつなげない人があるのはなぜだろう？</p>	<p>○手をつなぐことにちゅうちょしている様子を見計らって、低学年の頃を想起させる発問をする。</p> <p>○同じ行動でも、低学年と現在の反応の違いを比較させ、その原因である心の変化について考えさせる。</p> <p>○思春期の変化は、体だけでなく、心も変化することを伝える。</p> <p>○6年生と4年生のアンケート結果を比較させ、その違いに気付かせる。</p>

	<p><予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんだか恥ずかしい。 ・友達に冷やかされる。 ・異性として意識し始めているからなのかも。 <p>・異性への関心について、6年生と4年生を比べて見よう。</p> <p>・思春期には、異性への関心も芽生えること</p> <p>5 学習した内容を活用し、将来の自分に対してのメッセージを考える。</p> <p>・大人になることに不安な気持ちをもった人もいるかもしれません。学習したことから、将来の自分にメッセージを考えてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○無視したりからかったりすること、親しくなりたいと思うようになること、などがあることを知らせる。 ○異性への関心が芽生えることも大人に近づく変化であることを知らせる。 ○心の変化も体の変化と同様に個人差があることを押さえる。 <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習した内容を基にメッセージを考えさせ、学習カードに記入させる。 ○記入できないでいる児童には、これまでの学習内容を学習カードや黒板の板書などで振り返らせ、課題解決に当たるようにさせる。
<p>まとめ 5分</p>	<p>6 本時の学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人に近づくにつれて体の中は、どのように変わっていくのかまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習カードに思春期に体の中に起こる変化について記入させる。 <p>◆【知識・理解】 思春期には、初経、精通などが起こることやこれらは、個人によって早い遅いがあるものの、大人の体に近づく現象であることについて理解したことを書いたりすることができる。 (学習カード)</p>

(4) 資料等

保健学習カード 組 名前 _____

かだい _____

1 体の中が起こる変化について考えよう。

初 経	男子 女子 に起こる現象	いつから	どんなこと
		つけたし	
精 通	男子 女子 に起こる現象	いつから	どんなこと
		つけたし	

思春期に体の中で起こる変化では、女子に _____, 男子に _____ が起こり, _____ も芽生える。
これらは, _____ があるものの _____ に近づく現象である。

2 大人になることに不安な気持ちを持った人もいるかもしれません。学習したことから、将来の自分にメッセージを考えてみよう。

将来の自分へ

.....

.....

.....

※ 「○指導上の留意点 ◆評価」について、○ で指導上の留意点を、◆で評価について示している。

* 板書計画や資料（学習カード）を添付する。